

## 高齢者交通事故防止の取組みに鳥取県・亀井副知事から御礼挨拶

～「反射材付き交通安全啓発チラシ」3千部を鳥取県交通対策協議会に贈呈～

日本損害保険協会鳥取損保会(会長:増島 一郎・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 鳥取支店 支店長)は、11月8日(水)、増島会長が鳥取県庁を訪問して、鳥取県交通対策協議会に「反射材付き交通安全啓発チラシ」を3千部贈呈しました。

増島会長から、「損保協会では、安心・安全な社会の実現のため、高齢者の交通事故防止を重点取組みの1つとして掲げ、積極的に推進している。これから日が暮れる時間が早まり、あわただしい年末を迎えるにあたって、交通事故が増加する恐れがある。反射材を靴やカバンに貼り付けていただき、少しでも交通事故が減少することを願っている。」と挨拶がありました。

次いで、増島会長から、同協議会の副会長である鳥取県・亀井 一賀 副知事に目録が手渡されました。

亀井副知事から、「鳥取県は小さな県であり、県としてできることに限りがある。今回の寄贈のように、団体や企業から力添えをいただくことで、「1+1」を「3」や「4」にしていけるような取組みをしていきたい。」と挨拶がありました。

贈呈した反射材は、鳥取県交通対策協議会を通じて、鳥取県内の市町村に配分されて、高齢者への交通事故防止啓発活動に役立てられます。

当支部では、引き続き、鳥取県をはじめとした関係先との連携を強化して、高齢者の交通事故防止をはじめとした交通事故防止に関する活動に取り組んでいきます。



増島会長(左) 亀井副知事(右)



亀井副知事(右)に目録を渡す増島会長(左)



亀井副知事(右)の挨拶